

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス虹のわ			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～	2026年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～	2026年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用家庭に対しての細やかな支援と配慮	定期的に面談を行う機会を設け、その時の困りや悩みを事業所と共有できるようにしている。	どの職員でも一定の助言や意見等が提供できるような専門性の養成
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	小規模事業所なので活動に限界がある。	職員の数が限られているため、幅広い活動ができない面もある。	
2			
3			

公表 護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス虹のわ

公表日 2026/2/27

利用児童数 令和8年 2月 10日

回収数 4

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリア フリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	4					
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のあ る支援が受けられていると思いますか。	4					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内 容と合っていると思いますか。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観 的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画） が作成されていると思いますか。	4					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必 要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定さ れていると思いますか。	4					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いま すか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	4					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会がありますか。	2	1		1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等 について丁寧な説明がありましたか。	4					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がな されましたか。	4					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われ ていますか。	2			2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	4					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています か。	4					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同 士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同 士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていま すか。	1	1		2		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3		1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4			親も楽しいイベントが多くてとてもありがたいです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	4			とても頼りにしています。 これからもよろしくお願いいたします。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
児童デイサービス虹のわ		令和8年 2月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用児童に応じて環境調整等を行なっている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		利用児童によって配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	6			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		日々の朝礼や職員会議を活用している。必要に応じて見直している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	全職員で把握し共有している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		HPで公開している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	第三者による外部評価は行っていない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		定期的に職員研修を実施したり外部研修に参加している。	
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等サービス計画を作成しているか。	6		日々の様子を確認しながら計画を作成している。	
	13 放課後等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14 放課後等サービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		共通したアセスメントツールを使っている。	
	16 放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		担当を中心に職員間で共有しながら行なっている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節の活動を取り入れたり工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか 。	6		個別、集団を必要に応じて調整し組み合わ せている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	6		朝礼や引き継ぎノートを活用し確認して いる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		その都度、職員間で情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	6		日々の支援記録はソフトを活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的モニタリングを必要に応じて面談等 を行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせで支援を行っているか。		1	ガイドラインを活用するようにしている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児発管を中心として適任者が出席するよう にしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	5		現在は医ケア児はいないが必要性は感じて いる。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	6		必要に応じて訪問したり電話連絡を行なっ ている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		必要に応じて訪問したり密な情報共有に努 めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	5	1	まだ学校を卒業している児童はいないが、 その際には情報共有を行なっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		発達障がい者支援センターと定期的にやり 取りを行なっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	6		併用児童はいるが交流する機会はない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		開催された際は参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡ノートを活用したり、送迎時にやり取 りをするようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	6		利用契約時に説明をおこなっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて面談等を設定し対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		保護者会等はないが、必要に応じて交流の機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		整備している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		定期にお知らせ文書等を発行している。	
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付き書庫にて文書は保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		特性等、個々に合わせたコミュニケーション方法を意識している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		地域の方に読み聞かせをお願いしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		職員会議、研修にて周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハット事例集を活用し、職員間で共有し散る。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		現在、該当する児童はいない。	